

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [追手門学院中・高等学校] 担当教諭名 [田橋 知直] (1年A組 26名)

相手国・地域 [チリ]

海外学校名 [Liceo Bicentenario de Excelencia Domingo Ortiz de Rozas] 担当教諭名 [吉田 大祐 (JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	学級活動	アートマイル活動	15
	社会	特別講座(チリの基礎情報に関する学習)	4
	英語	アートマイル活動	4
	放課後活動	アートマイル活動	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	あらゆる違いを越えて、共生する
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	地球の反対側の国同士、文化も生活も違うが、共通する課題を抱えており、その課題に様々な視点を出し合って、それぞれ最適なアプローチで取り組む世の中を作りたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
長期休暇がズレることによるイレギュラーにも、協力して柔軟性を持って対応できた。	取り組み時間の確保

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
相違に関して、どこかで耳や目にした、またはイメージの中の相違ではなく、ファーストハンドでその違いに触れることができ、より身近に感じる事ができた。	学校の様子をレポートしてもらい、例えばダンスフェスティバルのような豊かな文化をうらやましく思った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	チリの基礎知識についての学習 SDG11に関して、お互いの国の状況を調べた。	社会の授業で、他の地域で習った「課題」が調べたチリにも当てはまるものがあり、知識がつながることのおもしろさを感じた。	社会 学級活動
共有 相手と意見交換	9月 10月	お互いが調べたものをお互いに伝えあい、そこから自分たちの国についての調べ学習に移行した。	自分たちがチリからどう見られているか、自分たちよりも自分たちの国の課題が見えていたり、逆に誤った見方をされていることに気がついた。	学級活動 英語
融合 メッセージ作成	11月	設計がうまく行かず、主にそれぞれの学校で作成し、教員同士のすり合わせで作成してしまった。	教師との対話にはなったが、学んできた課題に対して、国を越えて協力していきたいという想いは持つことができた。	放課後活動
創造 壁画制作	12月 1月	デザインの作成、鑑賞、デザインに基づいたペイント作業。	デザイン鑑賞を通して、例えばチンチラが天然記念物であるように、日本との違いを味わった。	学級活動
評価 振り返り 自己評価	2月	クラスで壁画を鑑賞し、取り組みを振り返った。Google Formにてリフレクションを言語化した。	違いは違いとして知ることがおもしろく、またそれを越えて類似点でつながることができることが尊いことがわかった。	学級活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	違うことや似ていることへの気づきの声が多くあがっていた。
主体的に考え行動する力	3	調べ学習の内容自体は主体的に取り組んで広がりを見せたが、こちらのデザインした全体の流れ以上に発展することはなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	違う視点から日本を見たり、相手国に関して調べて得た情報が、必ずしも正しい情報ではないということがわかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	時差もあって、Zoom等でつながることができず、対話しているというイメージはあまり持っていない。ただし、協働という観点では、相手の発信や返信を通して考えが深まった。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	壁画デザインについては十分に考え、表現できたが、肝心のメッセージの部分をやや強引に教員側でリードしてしまった。